

事案名	広島市の事案（広島県34-11）
分類	生産・保有 発見・被災・掃海等処理 現在の状況
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・『毒ガス島の歴史』平成4年〔1〕 ・『毒ガス兵器廃棄報告書』（米軍資料）〔2〕 ・『『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について（回答）』平成15年10月20日〔3〕 ・新聞記事（出所不明）昭和41年5月20日〔4〕 ・『毎日新聞』昭和43年7月17日〔5〕 ・『中国新聞』昭和43年7月17日〔6〕 ・新聞記事（出所不明）昭和44年9月6日〔7〕 ・『朝日新聞』昭和46年12月9日〔8〕 ・『中国新聞』昭和48年2月28日〔9〕 ・『読売新聞』昭和48年3月1日〔10〕 ・『『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について（回答）』平成15年8月25日〔11〕 ・『旧軍ガス弾等の全国調査結果報告（案）』〔12〕 ・『ジフェニルアルシン酸の撤去処理について』平成7年2月5日〔13〕 ・『中国新聞』平成7年2月6日〔14〕 ・『出島地区ジフェニルアルシン酸処理対策事業について』平成7年11月16日〔15〕
資料内容概要	<p>広島県広島市内の空地に長年放置されていた大久野島由来の毒ガス原料であるジフェニルアルシン酸が、広島県広島市出島町港湾整備事業埋立地の地下のコンクリート槽に埋設処理された。その後、埋設場所周辺の土壌から環境基準を超える汚染が確認されたため、当該物質及び汚染土壌等が焼却処理された。</p> <p>また、広島県広島基町倉庫（陸軍供給倉庫）には、忠海製造所から発泡剤（糜爛性ガス）が運ばれた。昭和21年9月に、同倉庫内のマスタードガスは除去された。</p> <p>生産・保有情報 （広島基町倉庫）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米軍がつかんでいた情報として、広島基町倉庫は陸軍供給倉庫で、そこに「発泡剤」（糜爛性ガス）が200kgコンテナで忠海製造所から運ばれたと記載されている〔1〕〔2〕。 <p>発見・被災・掃海等処理情報 （広島基町倉庫）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米軍資料から確認される情報として、昭和21年9月9日に、基町倉庫の地下2フィートからマスタードガス200kgコン

テナを除去した。コンテナが破損し、蒸気が漏れていたため発見に繋がった。汚染の形跡は確認されなかったと記載されている〔2〕。

(出島町)

- ・昭和41年5月に大久野島由来のジフェニルアルシン酸(クシャミ性毒ガス原料)が入ったドラム缶1,120缶(約120t)が広島市内の民間会社の空地に放置されていることがわかった。しばらく野ざらしの状態に放置されていたが〔4〕〔5〕〔6〕〔7〕〔8〕、所有者が昭和47年に所有権を放棄し、広島県が広島市出島町港湾整備事業埋立地にコンクリート槽を建設してドラム缶を埋設した〔9〕〔10〕〔11〕。また、資料によるとその量は100tとされている〔12〕。
- ・平成5年3月に、広島県港湾振興局が、埋設処理を行ったコンクリート槽周辺の土壌を調査したところ、環境基準を超える値が検出され、その後埋没物の漏出が確認されたため、平成7年から平成10年にかけて広島県が埋設されていたジフェニルアルシン酸及び周辺の汚染土壌等を撤去し、北九州市の処理工場焼却等により処理した〔13〕〔14〕〔15〕。

現在の状況

(出島町)

- ・ドラム缶が放置されていた場所は、現在倉庫及び駐車場として利用されている。また、ドラム缶が埋設された場所は汚染土壌等を全て撤去した後、現在は道路となっている〔3〕。